



10月23日の植樹祭にて。右から竹谷副大臣、嶋原清三実行委員長、嶋原新一区長、杉岡村長。



植樹祭では公園の他、国道や白鳥神社周辺にシダレザクラなど61本の苗木を植樹。

長泥復興組合

今年度からこの補助事業を活用し「長泥行政区の再生—色彩豊かな花の郷—事業」を行います。地区を「花の郷」として復興させることを目的に、全区民で構成する組合が主体となり、村や環境省、ボランティアと協力して事業を展開します。

地区への愛情を原動力に多くの人が関わる中で花の郷の景観を取り戻す。「花の郷」として環境整備を行っていた長泥地区。避難の中でも有志が地道な手入れを続けてきました。補助事業を活用し、白鳥神社の周辺や国道・県道沿いに新たな植栽をしていく計画です。さらには更地になった場所にも花木を植え、住民同士また外部とも交流をしながら、美しい景観と地域を守っていきます。

オープンガーデン飯館

周辺の美化活動を通して地域環境を整備しようと平成30年に活動をスタート。花を通じた交流や協働を生きがいにづくりにもつなげています。また、交流人口の拡大を目指し、オープンガーデンや花の名所を記したマップも製作しました。

花と庭づくりを通して人のつながりを育み地域環境をより美しく
花の好きなメンバーが集まり、村の景観を美しくすることを目的に活動を始めました。また、交流人口の増加につながるようフラワーマップを製作し、道の駅にも掲示しました。庭づくりなどメンバーそれぞれの活動は日常的に、グループの活動は計画的に行います。今後の活動に生かすための視察研修も行っています。



「花のまち柴田」として行政と町民が協働する宮城県柴田町で今年度の視察研修を行いました。



自宅の庭や沿道の花壇を花で彩り、景観美化や交流に努めています。

活動場所には会の看板を設置。

特集2

飯館村「までいな心の復興」事業

飯館村「までいな心の復興」事業は、平成29年度から、国の交付金を活用して実施している補助事業。村民の皆さんが、自ら活動の機会を創出し、他者とのつながりや生きがいを持って前向きに活動、生活することを支援しています。

飯館村「までいな心の復興」事業を活用している団体は、今年度から2団体が加わり、全6団体となっていて、それぞれに目的を持ち、工夫を凝らした活動を展開しています。ここでは、その取り組みやこれまでの足跡を紹介します。



長泥地区第1回植樹祭

10月23日に「長泥復興組合」が開催した植樹祭。桜並木を望む峠の公園で、記念式典を行いました。実行委員長の嶋原清三さん、嶋原新一区長ら行政区の皆さんをはじめ、全国各地から駆けつけたボランティアなど約100人が集い、竹谷と子復興副大臣や杉岡村長らも記念の植樹を行いました。

飯館村「までいな心の復興」事業 事業の概要

村民が参画し主体的かつ継続的に行う下記のような事業を補助しています。

- ① 地域コミュニティの再生及び新たな構築に向けた事業
- ② 村民の心身のケアや生きがいにづくりに向けた事業
- ③ 被災の風化防止に関して発信効果のある事業
- ④ 地域活性化に向けて波及効果のある事業
- ⑤ その他、村長が認める事業

補助額の上限は200万円です。
⑤については最大150万円まで追加が可能です。